

11月18日(水) 本年度第19回(通算 第2800回)

## 「新入会員卓話」夜間例会

担当/ プログラム委員会 18時30分～釧路プリンスホテル

### ◆お客様と来訪ロータリアン

(釧路北 RAC) 会長 小甲 薫さん、幹事 斎藤 慎也君 (終身会員) 小林 貢君

### ◆メーカーキャップ

10/27 小松 亮次君(釧路ベイ RC)  
11/15 佐渡 正幸君、北川 健二君、坂入 信行君(釧路北 RAC)  
11/16 中嶋 嘉昭君(釧路西 RC)

### ◆出席報告【会員総数 73 名 免除 6 名 出席計算に用いた会員数 73 名】

本日の出席率 出席者 40 名 メーカーキャップ 5 名 出席率 61.6%  
前々回の修正出席率 出席者 46 名 メーカーキャップ 0 名 出席率 63.0%

### ◆ニコニコ献金(今年度累計 260,000円)

- ・香川さん、山岸さん、仁木さん卓話楽しみにしています ～佐渡 正幸君
- ・卓話よろしくお願ひします ～中島谷 友一朗君
- ・香川さん、山岸さん、仁木さん頑張つてね ～長内 信辰君
- ・結婚記念日です。思い出させていただきありがとうございます ～川村 真一君
- ・結婚記念日、お祝ひありがとうございます ～小林 裕幸君
- ・新入会員の皆様、今日頑張つて下さい ～坂入 信行君
- ・入会記念日です。これからも宜しくお願ひします ～高橋 哲也君
- ・新入会員卓話、頑張ります ～仁木 久司君
- ・ニコニコいただきました ～能登 信孝君、横田 國勝君
- ・卓話！キンチョーしますよー！ ～平井 昌弘君
- ・世界平和を祈つております ～本間 弘人君
- ・初、各種記念日の紹介です。無事に終わりました ～水野 光輝君
- ・先日、ケーキありがとうございました。新入会員卓話、頑張ります ～山岸 弘典君  
(小林 貢様よりニコニコをいただいております。ありがとうございます)

## ◆会長挨拶

### 《佐渡会長》



皆さん今晚は、本日もこの様に多くの皆様に例会にお越しいただきまして誠にありがとうございます。

今週、来週は家庭集会在これから開かれるのかなと思います。中嶋委員長を始めロータリー研修委員会の皆様お疲れ様でございます。今回のテーマは委員長と相談した中で、私の本年度の重点課題である会員拡大、出席率向上を班で話し合ってもらいたいと私の思いで決めさせて頂いた部分もございます。やはり年度の最大目標である、会員拡大・出席率向上については今までも沢山話し合っている事もあり、またかと思う方もいらっしゃると思いますが、やはり、私の目標を何とか達成しなければならないと言う私の責任もあり、その中で今までと違った方向で色々な意見を頂いたり、或いは会員拡大・出席率向上と言うのは、これからの会の発展において、必要不可欠で非常に重要であると言う部分を皆様に認識して頂きたいと言う思いでテーマを設定させて頂いておりますので、時間が無い方は、各班の日程も決まっておりますので、違う班での出席もしながら参加して頂きたいと思っております。

そして、幹事からも報告がありました通り、今年も歳末助け合い運動募金を行います。今日も釧路市共同募金会長の富安さんが私の事務所の方へお越しいただきまして、本年度もよろしく願いいたしますと言う挨拶を頂きました。昨年とは違った形で、3週に渡って行うと言う事で、会員の皆様には色々のご苦労をお掛けするかと思います。是非ご協力をお願いしたいと思います。

先週の日曜日にローターアクトクラブ初の試みとなる、市民公開例会と言う事で、非常に多くの一般市民の方が集まった訳でございます。私も参加させて頂きまして、テーマが「子育て」と言う部分についての講演で、帯広から丸山先生をお呼びしての講演を聞かせて頂きました。その中で私の心に非常に響いた事がございました。子育てのお話の中で「大切にしなければならない事は解っているけれども、なかなか行動には移す事は出来ない、それであるなら、大切である事に気付き、そして感じないと人間はなかなかその行動には移せない」と言うお話がありました。つまり、子育てについて、大切なのは解っているけど、何故本当に大切なのかを考えた時に、そうしたらこう言う行動しなければならないと言う考えに移っていくと言うお話をされておりました。それは正に、我々の日々の仕事であるとか、家庭であるとか、社会活動であるとか、そしてこのロータリー活動においても言えることだと感じさせて頂きました。ロータリーと言う活動は大切である、地域にとって、社会にとって、或いは世界にとって大切であると言う事は、当然メンバーの皆様は解っていますが、その事に気付き、感動し、そして積極的に参加すると言う方向になればなるほど、会は発展するのだと考えています。私の会長としての責任として、会員皆様に一日でも早くこのロータリーがこの世の中にとって大切であると感じて頂けるような事業展開をさせて頂きたいと思っております。これから、ID スポーツ大会そして募金活動と言う部分で社会奉仕の活動が続きますので、その中でこのロータリーがこの世の中にとって必要で大切であると言う事を感じて頂きたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

それでは本日は、新入会員卓話と言う事で3名のお話し非常に楽しみにしておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

## ◆ 幹事報告

### 《中島谷幹事》



パーソナルボックスヘナシ

回覧として4点

1. 釧路北 RAC より桜植樹募金活動、クリスマス例会の案内。
2. 国際大会スケジュール、登録料の案内。
3. 例会プログラム変更の案内。
4. 釧路市共同募金委員会より「赤い羽根共同募金」「歳末たすけあい募金運動」協力をお願い。

報告として（口頭）5点

- ・先週に次週はビュッフェとお伝えしましたが、連絡ミスがありまして、通常の食事になりましたことをお詫びいたします。
- ・28日（土）開催のIDスポーツ大会のご案内、出欠確認をFAXしております。19日の返信期日までにご返信をお願い致します。
- ・家庭集会において、自班に出席がかなわない場合は私までご連絡下さい。他班をご紹介いたします。
- ・本日、12月4日（金）、11日（金）、18日（金）に行います「歳末たすけあい募金活動」の案内をFAXしております。25日（期日）までの返信をお願い致します。
- ・5月28日（土）～6月1日（水）までソウルで行われます国際大会の案内を回覧しています。（クラブの公式スケジュールは27日（金）～29日（日））  
以前より開催期間は2016年5月28日～6月1日で告知がなされておりますが開会本会議（＝開会式）は5月29日に予定されておりますのでご注意ください。  
（※5月28日～の表記が間違っているわけではないとのこと）  
12月15日の登録（割引）前に一度、参加の可否の案内をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

## 「 新入会員卓話 」

プログラム委員会 大友委員長



皆さん今晩は、プログラム委員長の長友でございます。

今日は、副幹事からの開会宣言でもありましたが、通算2800回目の区切りの良い例会を担当出来た事、大変光栄に思います。

さて、本日は新入会員卓話と言う事で、3名の新入会員に卓話を行って頂きます。

それではご紹介いたします。

まずは、香川勤吾君、入会日は本年7月22日、職業分類は旅行斡旋、勤務先は株式会社JTB 北海道釧路支店支店長、続いて、仁木久君、7月22日入会、職業分類は解体業、勤務先は株式会社 仁木工務店 代表取締役、もう一方は山岸弘典君、10月7日入会、職業分類は理容、勤務先は Beetle bum for Men's hair 代表と以上3名の方でございます。

短い時間ではございますが、よろしくお願いいたします。

## 新入会員卓話

### 香川勤吾君



本日は卓話の機会をいただきありがとうございます。

私は釧路に引っ越してきて間もなく10か月になります。その中で感じている釧路の魅力と、それが当社の仕事にどう繋がっているかを、少々宣伝もさせていただきながらお話ししたいと思います。

釧路の魅力のひとつは、つきなみではありますが“食べ物がうまい”ということです。私自身、北海道には延べ約40年住んでおります。一度東京に出た後に札幌に戻り、北海道の食べ物の美味しさをあらためて実感しました。その後苫小牧に移り、近辺エリアには登別や白老や日高地区の漁港がありましたので、札幌よりもさらに魚介類が美味しいと感じていました。しかし釧路はさらに段違いです。北海道の中でもこんなに違うのかと驚いています。妻も同様で、牡蠣はフライ以外はあまり進んで食べなかったのですが、すっかりとりこになってしまいました。

そんな中で、現在弊社では“くしろプレミアム旅行券”という事業を市から受託して行っています。おかげさまで発売から2ヶ月ちょっとで完売し、現在市内で使われています。旭川や札幌などでも同様の事業が行われていますが、なかなか販売が進まないと聞いています。それに反して釧路が早々に完売できた要因の一つは、宿泊施設だけでなく飲食店やお土産店でも使える設定にしたことだと感じています。末広の居酒屋や和商市場やMOOなどでも使えるようにしました。釧路の“食の魅力”をうまく活かせたのではないかと自負しています。

釧路の魅力の2つ目として、“野生動物の宝庫”であるということが言えます。丹頂・オオワシ・シマフクロウ・エゾシカ・シャチなどなど。シロクマのミルクちゃん・・・・・・は野生動物ではありませんけど・・・・。これを利用して弊社では先日、釧路沖の“海洋生物観察クルーズ”を実施しました。報道で取り上げられたのでご存知の方もいらっしゃるかと思います。3日間に分けて実施し、各日完売で大好評でした。シャチやイルカに加え、大変珍しいマッコウクジラも見ることができました。次回はいつやるのか？という問い合わせも入っており、来年もぜひ実施したいと考えています。

また釧路の魅力として挙げたいのが“涼しい”“花粉症にならない”という点です。特に私にとって、夏が涼しいのは変えがたい魅力です。

これを活かして“長期滞在プラン”が行政を中心に進められていますが、弊社も積極的に取り組んで行きたいと考えています。実は明日から埼玉県熊谷市に出張に行ってきます。同じJTBグループの熊谷の支店へ、長期滞在プランで連携できないかと提案してきます。熊谷といえば夏は40℃を超える「日本一暑い町」です。そこで「日本一暑い都市から、日本一涼しい都市へ」というキャッチコピーで熊谷の方々に釧路の長期滞在をしてもらおうという計画です。ぜひ実現させたいと思っています。

まあ良いことばかりでは無く、特に車を運転しているとイラつくこともありますけれど。“エゾシカが邪魔”とか、“ウインカーを出すのが遅い”とか、“パッシングしてくれない”とか。“なぜ頭から駐車？”というのがあります。まあ別にいいんですけどね。

私は転勤族なので、あと何年釧路にいられるかわかりませんが、いる間に沢山の魅力をたくさん見つけて仕事に活かし、そして町の役に立てるように頑張りたいと考えています。ぜひいろいろ教えて下さい。

以上で私の卓話を終わらせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

## 仁木 久君



本年度入会させていただきました、仁木です。仕事は解体業をしております。よろしく申し上げます。

それでは、卓話を始めさせていただきます。

今日のテーマは、私の生き立ちと仕事の事も含めてお話しいたします。

生まれは、1973年釧路で生まれて、阿寒湖畔で育ちそこでずっと過ごしていました。まりも幼稚園を卒業し、阿寒湖小学校、阿寒湖中学校、そして高校は資格を取ろうと思い、厚岸水産高校に入学しましたが、他の人より早く卒業しまして、1年通っていません。その後、東京の国分寺と言う所で新聞配達を1年間しておりました。バイクに乗り約500部の新聞を積んで、朝2時から6時位まで国分寺の街をバイクで配達をしていました。昼間はそのバイクで、拡張と言う新聞の営業をやっておりました。まだ17歳くらいでしたが、街の色々な人と話をして回り、半年の契約を結構取ってきました。その当時バイクで走っていると、事故にあい人に怪我をさせてしまい、それで東京に居る自信が無くなり、釧路に帰ってきました。阿寒湖畔に戻って来て肉屋さんに半年働いていました。その後、ホテルの裏方で食器洗い等をやっていました。その頃の阿寒湖畔はバブルで、すごいお客様で忙しくコップが無くなる位、お客様が回転していました。そこを半年くらい勤め、その後、蕎麦屋さんで半年間勤め、ガソリンスタンドで3年働き、今の会社、仁木工務店に入社いたしました。その頃の会社は、工務店と言っても営繕の仕事がほとんどで、ホテルの仕事をメインでやっておりました。その中で私は、ホテルのゴミの回収を3年位やっておりました。それと同時にバブルがやって来て、4年くらいで弾けました。ゴミの量を見ているとホテル街の景気が解り、このままでダメだと思い釧路に出ることを決めました。釧路に出てきて、見よう見まねで、今の解体業と言う仕事を今から9年前に興しまして今に至っております。そして、2、3年前位に今度は運送の許可を取り運送業を始めました。ダンプで土などを運んだり、今は魚を運んでおります。その魚と言うのは、マグロ・イカそれとサメです。マグロとサメは自ら気仙沼まで運んでおります。この釧路沖は、サメとマグロが良く獲れますが、釧路には加工施設が無いので気仙沼まで運んでいます。先月はイカを函館までいきました。私は普段会社には居ません、机に座っているのが嫌いなものですから、トラックに乗っています。これからの冬の季節は除雪のシーズンなので、ロータリークラブの例会も欠席するかもしれませんが、なるべく出席出来るように頑張りますので、今後ともよろしくお願いたします。以上です。

ありがとうございました。

## 山岸 弘典君



釧路北ロータリークラブの皆様、こんばんは。お疲れ様です。10月から入会させていただきました、理容室『ビートルバム』代表の山岸弘典です。本日は、新入会員卓話という事で、私の様な若輩者に対し、錚々たる諸先輩方の前でこのような貴重な機会を頂きまして、誠にありがとうございます。少々のお時間を頂く事と、小心者であるがゆえに原稿を見ながらお話させて頂く事をどうかお許しください。

まずは、自己紹介をさせていただきますが、名前は山岸弘典、山に岸辺のきし、弓へんにカタカナのムでひろ、辞典のテンでのり、山岸弘典でございます。年齢は33歳です。1歳年上の妻、まりこと、現在1歳半の娘つばさと3人家族で、本日、白樺台に引越しました。釧路市出身、1982年、昭和57年11月13日生まれ。つい先日は浦田さんの美味しいケーキをありがとうございました。11月13日生まれの有名人といえば大原麗子、由紀さおり、伊勢正三、ウーピーコールドバーグ、倅田來未、そして、キムタクです。

さそり座でO型、三人兄弟の長男であります。昨今に流行しました動物占いでは象、細木数子の六占星術では天王星人+だそうです。

幼少時代を現在問題になっております美原の道宮住宅で過ごし、手前味噌ですが、美原小学校・美原中学校を学業優秀な成績で卒業し、釧路湖陵高校に入学して三ヶ月後、人生の大きな転機がやってまいります。釧路漁業組合に長年勤めていた父が北海道新聞に掲載されていましたが厚岸町役場からの新規椎茸農家の募集記事を見て一念発起しまして、お金を全て叩き突然脱サラを宣言致しました。海から山へと生物の進化の如く、漁業に従事していた父を筆頭に山岸家は厚岸町の山奥・上尾幌という秘境の地へと移住をしましたが、背水の陣で挑んだ山岸家の椎茸農家生活は、退化の道を進む一方でした。私の妹・弟は当時まだマンモス校であった美原中学校・美原小学校から、全校生徒僅か13名程の上尾幌小中学校(現在は閉校)へと転校し、私に関しましては好きだったサッカー部での活動も辞め、片道一時間掛け、度々エゾシカにぶつかり停車するワンマンローカル列車に乗って通学をする羽目になり、学校が終わればすぐ様また汽車に乗って帰宅し椎茸の収穫・パック詰めの作業を家族で夜9時～10時まで行っておりました。そんな生活が続き、二度と帰って来ない青春時代は椎茸に取り憑かれ棒に振り、グレずにいられる16歳など何処にいるのでしょうか。そんな生活に比例して私の学業も日増しに疎かになり、常に学年で一～二を争っていた私の成績は、クラスで下から一～二を争うまでに低迷し、学校は昼寝をする場所にまで成り下がってしまいました。

のうのうと高校生活が過ぎて行き、そろそろ進路について考えなければならない時期になり、湖陵高校生の進路といえば9割型大学進学なので、父は就職率の良い室蘭工業大学を私に勧めてきました。しかし、家にお金が無いことも知っていましたし、大学に行きたいという思いもさほど湧かず、そもそも学力がすっかり無くなってしまったので、まずは、なんでも良いやといった具合に、安易に実家を継ぐ旨を父に伝えました。すると父に、『お前の様な社会も世間も知らない様な奴が簡単に出来る仕事では無い！とりあえず大学に行って就職して社会というものを勉強して来い！それからやりたいと思う様なら考える！』と、心の中を見透かされたように一蹴されました。一番楽に思えた選択肢が消え、何か自分が本当にやりたいと思える事は無いかと心に問いただしてみると、一筋の光が見えてきました。私が高校3年生であった当時と言えば、あのキムタクも月9ドラマで演じ一世風靡したカリスマ美容師ブームでした。美容師を目指す奴らなんて大した努力もしないでチャラチャラした様なのばかりだべ…よし、俺が業界トップを走って大金持ちになって女の子にモテモテになって…と、大した努力も出来ないチャラチャラした当時の私はカリスマ美容師になると決意したのでした。当然私を大学に進学させたい父は猛反対でしたが、そんな父も一目置いているNTTに勤める私の10歳上の従兄弟が、『人に言われて進んだ進路でつまずくと必ず人のせいにするから、自分で選んだ進路へと進み、何があっても自分で責任を取らせるべき。』という言葉で、晴れてカリスマ美容師への道が拓けました。しかしながら、今現在私は理容師であります。何故かと言うと、高校生の当時に散髪しに通っていた店のオーナーから専門学校に行くならうちで働かないかとお誘いを頂き、通信教育で資格を取るとお金も1/3で済むし、この店で働किながら通信教育で資格を取ろうと決めたものの、実はその店は美容室ではなく理容室だったという事があります。その様にしてこれまた転機が訪れ、美容師になるつもりだった私は理容師としての第一歩を釧路市内数店舗を構えるハニーの緑ヶ岡店で歩み始めました。

ハニーで3年間理容の技術と接客の基礎を学び、その後釧路市内3店舗でそれぞれのお店で流れ板の如く修行し、最後にティーズボーンという美容室に理容部門が出来るといふ噂を聞き、キャリアアップすべく面接を受け理容部門のチーフとして採用して頂き、たった1人での理容部のオープニングから5年間、少しずつ売り上げを伸ばしスタッフも増やし、より経営者的立場で仕事をさせて頂くことが出来ました。これまで勤めさせて頂いたどのお店を無くしても今の自分が成り立たない訳ですので、全ての働かせて頂いたお店とその環境に感謝しておりますが、特にティーズボーンの奥田社長は心からの恩人であります。奥田社長は本当に男気の塊の様な方で、私が退職する際に退職金などは払ってやれないから、代わりと言ってはなんだが顧客にDM出して

も良いからなと言ってくださいました。と言いますのも、私の周りでは独立をしようと行動を起こしても、引き止めから始まり、退職が決まってから実際に退職するまでの嫌がらせ行為や、退職後も良くない噂を流されたりといった話をよく聞きます。ですから、いつか逆に送り出す立場になった際には、その時の御恩をまた次の世代へと贈る事が自分の使命であると思います。

そうして、11年間の修業後に念願の独立をする事になるのですが、テナント探しをしている時に以前自分が理容業界に飛び込み2店舗目に勤務し、約2年間働かせて頂いた、フェリスラスカルという理容室のオーナーの越善さんから電話がかかってきました。その話の内容は、独立するならうちの店を買わないか？というものでした。フェリスラスカルは自分が勤務していた当時、若者から絶大な支持を受け、常に予約がビッチリで、お客さんが入って来られたらチツと舌打ちをする位の忙しさでした。しかし、そういった気持ちでお店を運営していると、当然その気持ちがお客様に伝わり、スタッフの態度にも現れ、徐々に客足は遠のいて行き、遂には約10年のフェリスラスカルの歴史に幕を閉じざるを得ない状況にまで達していました。そして、いわゆる居抜き物件という事でリーズナブルにスタート出来るメリットがあったのと、当時ダラシないお店ではあったものの、スタッフ同士とても仲が良く自分にとって所縁のあるその場所でのオープンを決意しました。そして、その越善さんはその後どうなったかという、現在私のサポート役としてフェリスラスカル当時の気持ちを新たに色々な業務に励んでくれています。自分より13歳も年上の右腕という事と、ましてや元々私の上司どころかオーナーであり、端から見れば下克上ですから、時には指示が出しづらく感じる事もありますが、元々経営者ですから同じベクトルで自発的に色々な事に気が付き自主的に行動してくれるので、非常に頼もしい存在であります。オープンしてから1年半程経ってまた新たにスタッフが増え、現在自分を含め3名のスタッフで日々営業しております。

開業してから現在で3年半の月日が流れ、順調に業績は伸び、現在の椅子3席の店のキャパで頭打ちの状態になってきた為、今後の展開を色々と考えている段階です。2店舗目を考えつつも、次の展開として今動いているのは実家の椎茸に関連した事業です。そうです。散々な思いをさせられたあのにつつき椎茸達に今度は恩返しをして貰わなければ私のあの当時の辛い思いは報われません。それは冗談ですが、現在父・母とパートのおばさん方で営まれる実家の椎茸農場はあくまでも生産の部分しかしておりません。今の時代は第1次産業の6次産業化という事で、生産から加工・販売までを視野に入れ事業継承をしていきたいと考えております。

現在、私はまだまだ経験も年収も少なく、周りの方々から見ると何あいつ無理してロータリー入ってるんだ？としか映っていないと思っています。下手すると、あんな奴でも入れるのか、ロータリーも格が下がったな。と、私が入会させて頂いた事によってそう捉えられてもおかしくないのかもしれませんが、しかし、今回こうして入会させて頂く事を決めたのは、断る事は簡単な事ですが、誰でも入れる訳ではないこのクラブにお誘いを頂けたという事をチャンスと捉えたからであります。具体的に言うと、遥かに格式の高い皆様と過ごす事が出来るこの時間を通してこのクラブの一員として恥じない自分になる為、自分に負荷を掛け、経営者として、一人間として色々な事を学ばせて頂き、このステージに自分の身を置き皆様の人間性や振る舞いを肌で感じる事によって、自ずと自分も引き上げられるのではないかと考えたからであります。そして、時には家庭を顧みず飛び回る私を支えてくれる家族と、時には仕事を早上がりし諸々の会合などに出て文句も言わずについて来てくれる従業員達の為にも、1日も早くこの会にふさわしい人材となれる様多くを吸収し努めて参りますので、皆様からのご指導ご鞭撻を賜ります様、よろしく願い申し上げます。最後になりますが、何かしら失礼にあたる表現や、耳障りな表現などがありましたら、申し訳ありませんでした。ご静聴ありがとうございました。